

議会から こんにちは

2025 **11.1**
令和7年



10月4日、佐野市総合防災訓練がイオンモール佐野新都市北側駐車場で9年ぶりに行われました。

道路啓開や倒壊建物からの救出・救助のほか、ドローンによる物資輸送、一斉放水など多くの実践的な訓練が実施されました。この防災訓練を通して、多くの市民の方の防災意識の向上が図られました。

令和7年9月定例会

- 令和6年度決算を認定
- 決算審査特別委員会で延べ23人が質疑
- 一般質問に20人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。→



佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索

令和6年度

一般会計決算、特別会計決算、 企業会計決算を認定

▶ 決算審査特別委員会（パソコン・スマートフォンなどで録画画像をご覧になれます）



委員長
久保 貴洋



副委員長
慶野 常夫

9月定例会では、令和6年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月22日、24日、25日、26日、29日の5日間にわたり審査を行いました。

特別委員会では、一般会計決算に16名、特別会計決算及び企業会計決算に7名の委員が質疑を行い、市に対する決算審査要望書を取りまとめ、全7件の決算議案を認定しました。（議決結果は3ページをご覧ください。）

令和7年 佐野市議会 議会中継

「令和7年第5回（9月）定例会・常任委員会・決算審査特別委員会」からご覧ください。



決算審査特別委員会の様子

▶ 令和6年度 決算の概要

●一般会計及び特別会計

（1万円未満四捨五入）

区 分		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計		648億7,317万円	616億74万円	587億7,177万円	28億2,897万円
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	118億7,257万円	109億9,280万円	107億7,885万円	2億1,396万円
	国民健康保険事業（直営診療施設勘定）	2億6,410万円	2億1,650万円	2億1,650万円	0円
	介護保険事業（保険事業勘定）	124億8,158万円	124億5,747万円	122億7,848万円	1億7,899万円
	後期高齢者医療	18億6,259万円	17億7,234万円	17億6,968万円	266万円
	小計	264億8,084万円	254億3,911万円	250億4,350万円	3億9,561万円
合 計		913億5,400万円	870億3,985万円	838億1,527万円	32億2,458万円

（注）各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●企業会計

（1万円未満四捨五入）

区 分		水道事業会計		下水道事業会計	
		予算額	決算額	予算額	決算額
収益的収支	収入	22億4,886万円	22億4,071万円	39億1,050万円	39億278万円
	支出	22億7,994万円	21億4,775万円	38億9,213万円	35億3,077万円
資本的収支	収入	8億1,463万円	6億2,954万円	23億3,489万円	13億1,574万円
	支出	19億272万円	15億9,582万円	42億3,931万円	29億7,867万円

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件 名	議決結果	
一般会計			
議案第84号	令和6年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
特別会計			
議案第85号	令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第86号	令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第87号	令和6年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第88号	令和6年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
企業会計			
議案第89号	令和6年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員
議案第90号	令和6年度佐野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員

賛否が分かれた議案

議案番号	件 名	賛 成	反 対	議員名 [議席番号順]																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				堀川悦郎	田邊直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗崎卓二	澤田裕之	蘆原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
議案第84号	令和6年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第85号	令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第87号	令和6年度佐野市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第88号	令和6年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○

※○=賛成、×=反対

※菅原達議長は採決に加わりません。

決算審査特別委員会質疑者一覧

一般会計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	谷 美 枝 子	9	小 森 隆 一
2	大 山 圭 司	10	早 川 貴 光
3	堀 川 悦 郎	11	滝 田 洋 子
4	猪 瀬 朱 美	12	鶴 見 義 明
5	長 浜 成 仁	13	山 菅 直 己
6	蘆 原 政 夫	14	澤 田 裕 之
7	小 倉 健 一	15	横 塚 剛
8	立 川 俊 一	16	茂 木 明 男

特別会計・企業会計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	澤 田 裕 之	5	早 川 貴 光
2	鶴 見 義 明	6	長 浜 成 仁
3	小 倉 健 一	7	小 森 隆 一
4	滝 田 洋 子		

令和6年度

決算審査要望書

1

持続可能な財政運営の推進



本市の財政構造の弾力性を示す指標である令和6年度の経常収支比率は、91.1%と前年度より改善された。また、直近では、インフレの影響により、税収入は拡大傾向が続いているものの、長期的な社会情勢を鑑みれば、少子高齢化に伴う人口減少により、今後の税収入の減は避けられない。

そのため、ふるさと納税の増収策の検討及び遊休公有財産の戦略的な活用をより一層推進し、自主財源の確保に努められたい。また、歳出については、業務に必要な人員を適正に配置しつつ、将来を見据えた上で事業の選択と集中を図るとともに、各補助金及び交付金については、費用対効果の検証を行い、適正な運用に努められたい。

2

防災力の強化と万全な消防・救急体制の確立



近年の激甚化・頻発化している災害に対応するため、トイレトレーラーやドローンの活用研究、指定避難所の耐震化や空調設備の設置及び備蓄品の適正な確保など、防災インフラの計画的な整備を推進し、防災力の強化を図られたい。また、迅速な被災者救援を実現すべく、資機材の充実と職員の適正配置に努め、万全な消防・救急体制の確立に取り組むとともに、災害時の要となる消防団についても、深刻化する団員不足の解消と組織再編を進め、実践的な災害対応能力の向上を推進されたい。

3

福祉サービスの充実



誰もが安心して暮らせる共生社会を目指す上で、福祉サービスの充実を図ることは重要である。本市においても、高齢者や障がいのある方に対する様々な支援事業を行っているが、これからさらに必要とされる福祉サービスの考え方は、相手側により寄り添った事業であると考えられる。

重度心身障がい者医療費は、窓口で一旦医療費を支払う償還払いとなっており、助成申請が煩雑であるという市民の声がある。実施している支援事業のさらなる周知に努められるとともに、本事業については、窓口負担が不要となる現物給付制度への検討を図られたい。

4

子どもたちを取り巻く環境の改善



子どもたちが心身ともに満たされ、豊かに生きていくこと(ウェルビーイング)を支えるには、保育の質を高める必要があり、そのためには環境や経験が大事であるとされている。本市においても、こどもまんなか社会を実現するため、市内公立保育園や民間保育施設の環境改善の支援のさらなる充実を図られたい。

また、現在本市には、こどもの国等の遊び場があるが、手狭であり、老朽化も進んでいる。既存施設の改善を図るとともに、昨今の異常気象による酷暑であっても子どもたちが安心して遊べる環境を整えるため、全天候型の遊び場の誘致及び既存の児童厚生施設の大規模なリニューアル化を検討されたい。

5

コミュニティ・スクールの推進と多様な学びの場の確保



全国的に少子化が進む中、本市においても小中学校の統廃合を進めているが、不登校児童生徒の増加が顕著となっている。子どもたちや学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、すべての子どもが安心して学べる環境を確保するため、学校と地域が一体となり、地域とともにある学校づくりを進めるコミュニティ・スクールの導入を進め、制度充実につながる運営の推進を図られたい。

また、不登校児童生徒や、子どもたちの多様な学びのニーズに対応するため、フリースクール等に対する支援制度の検討を行い、必要な施策を講じるよう努められたい。

6

豊かな自然を未来へつなぐ取組の推進



本市には、大切に受け継がれてきた田畑や山々が多く存在する。これらを守り次世代に引き継ぐことは、関わる従事者や地域にとって重要な使命であり、広くは、地域の資源を大切に使い、未来の世代も豊かに生活できる持続可能な社会を目指す環境社会にもつながる。多面的機能支払交付事業の推進や森林環境譲与税の有効活用を図り、さらなる持続可能な地域づくり、環境づくりに向けた取組を積極的に推進されたい。

7

空き家対策の推進



全国的な少子高齢化の流れを止めることはできない現状の中、今後、高齢者のみの世帯のさらなる増加が見込まれ、必然的に、空き家が増加することが懸念される。長く放置された空き家は、衛生的観点からの問題や周囲の景観に深刻な影響を及ぼすことから、適切な管理が求められるが、管理義務者が不明という事例もある。管理義務者の把握と適切な管理の指導及び支援を強化されたい。また、空き家バンク制度は登録者が減少していることから、空き家バンク制度の周知に努めるとともに、設置された移住・定住コーディネーターとの相互連携を図りながら、空き家の利活用を推進されたい。

8

インフラ整備の推進



近年、台風や集中豪雨が頻発し、日本各地において甚大な被害を受けている。本市においても、令和元年東日本台風により、河川氾濫や土砂災害など、市民生活に甚大な被害を受けた。市民の命と暮らしを守るため、道路や河川などの公共インフラの計画的な整備、強靱な災害対策をより一層推進し、国や県、関係団体と緊密に連携しながら、災害に強いまちづくりを進められたい。



久保 貴洋 議員
(創政クラブ)



本市と近隣市を結ぶ道路整備について

Q 本市と群馬県桐生市を結ぶ道路の現状について伺いたい。

A 都市建設部長

本市と群馬県桐生市を結ぶ主要地方道桐生田沼線は、田沼地区と群馬県桐生市の梅田地区を結び、付近に森林公園やゴルフ場など観光資源が点在するなど、地域間交流や観光を支える重要な役割を果たし、近年では山道を好むサイクリストの利用も増加しています。また、災害時には、本市と桐生市双方の避難路としての活用や、両市の相互支援体制の確保に寄与するものと考えています。しかし、老越路峠付近は道路幅員が狭隘で、待避所が数か所あるものの、すれ違いが困難な状況であり、車両や自転車の安全な通行に支障を来していることから、狭隘部の解消が必要だと考えています。

その他の質問

☆気候変動に関する意識と行動変容の促進について
☆本市の防災力向上について
☆人々を集める観光戦略の展開について



田邊 直美 議員
(創政クラブ)



界駐在所と南交番の統廃合に伴う地域住民の不安と新都市中央公園を含めた防犯体制の強化について

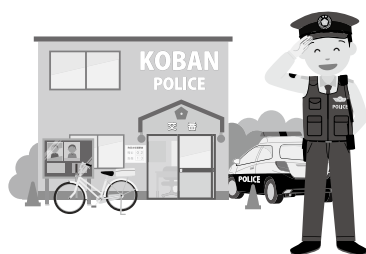
Q 新都市交番は、新都市中央公園周辺に設置されることが望ましいと考えるが、市の認識を伺いたい。

A 行政経営部長

平成19年、警察本部長宛てに提出した要望書では、高萩町地内の市有地を設置場所として要望しています。犯罪や交通事情の変化に伴い、地域情勢等も変化していますので、今後これらの変化を的確に把握し、要望当時の場所が適切かどうか検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆民間保育園と公立保育園の違いに基づく支援について



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



林道小室正雲寺線の不法投棄について

Q 私の地元である林道小室正雲寺線だが、6月半ばに農山村振興課から不法投棄の連絡が入ったため現場を見たところ、投棄された場所は6か所あった。現状と経過について伺いたい。

A 市民生活部長

林道小室正雲寺線の不法投棄については、最初に認知した令和7年6月9日から、これまでに3回、6か所ありました。合計で約580枚、建築廃材約4トンの不法投棄を確認しています。このことを踏まえ、不法投棄禁止看板を18基、監視カメラを会沢町、豊代町にそれぞれ設置の上、廃棄物監視員によるパトロールを強化しています。また、これ以上不法投棄がされないよう、佐野警察署、栃木県南環境森林事務所と連携の上、警戒しているところです。

その他の質問

☆マイナ保険証について
☆廃止対象の市営住宅について
☆平和行政について





栗崎 卓二 議員
(創政クラブ)



佐野市子ども計画について

Q 児童生徒の興味関心、多様化するニーズに対応し、豊かな学校生活が送れるよう、個性を尊重する教育を推進することのことだが、具体的にどのような取り組みをするのか伺いたい。

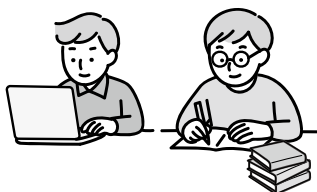
教育長

A 学習に関しては、従来までの画一的な一斉指導ではなく、児童生徒が課題解決に向け、自分で学習計画を立て、進め方を決めたり、学ぶ方法を端末やプリント、教科書などの多様な教材から選んだりするなど、学び方を選択できる授業展開の工夫に努めている学校もあります。

さらには、児童生徒の努力の過程や善行を表彰し、児童生徒一人ひとりのよさを認め伸ばすとともに、自尊感情を高める取り組みを多くの学校で行っています。

その他の質問

☆災害時の対策について



横塚 剛 議員
(創政クラブ)



医療的ケア児、障がい児、障がいがある方の家族に対する支援について

Q 栃木県立足利中央特別支援学校の分校を旧葛生小学校へ誘致することについて、県への要望状況を伺いたい。

教育部長

A 現在、本市には特別支援学校がなく、通学、送迎等に係る本人、保護者の負担が大きいことから、足利中央特別支援学校分校の設置について、地元県議との市政に関する懇談会で情報共有し、8月に市長から知事、県教育長、県議会議長に対し、要望を直接伝えてきました。旧葛生小学校を分校として想定していることも伝えていきます。

また、4月には、教育長から県教育長に旧葛生小学校への分校設置の要望を直接伝えていきます。県は、児童生徒の主体的な学びを促す教室環境づくりに向けて、分教室等の設置の検討を進める方針を示し、市町との意見交換を検討しているとのこと。今後も県の動向を確認しながら、要望を継続していきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市の高齢者介護の現況と今後について



早川 貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)



デジタル地域通貨「さのまるペイ」について

Q 「さのまるペイ」利用者のデジタルに不慣れな方へのサポート体制について伺いたい。

産業文化スポーツ部長

A 今年度の利用者サポート体制としては、土曜日、日曜日、祝日にも対応するコールセンターを設置し、10月の利用申込み期間と利用開始となる11月から12月までの期間において、役所3階に臨時相談窓口を設置します。

また、市内の携帯キャリアショップでも、利用支援の実施に向けて準備を進めていきます。

様々なサポート体制を実施することで、特に導入初年度はデジタルに不慣れな利用者を支援していきたいと考えています。

その他の質問

☆市有運動施設を利用する際の熱中症対策について
☆選挙に関する取り組みについて





小倉 健一 議員
(政友みらい)



出流原・寺久保圃場整備について

Q 出流原・寺久保圃場整備について、今年1月に整備推進組織が発足されたが、当局の把握する内容を伺いたい。

A 市長

令和5年度に水利組合を中心とした地元有志より相談を受け、事業を行う栃木県を含めた3者で事業実施に向けた協議を行っています。令和6年8月に受け取った資料をもとに、区域の面積及び土地の筆数を調査したところ、面積は約60ヘクタール、筆数は約600筆でした。

現在、事業化に向け、1月に設立された出流原・寺久保地区圃場整備事業推進委員会では、事業実施の要件である、当該地区に農地を所有する方及び当該地区で耕作する方それぞれ90%以上の同意を得るため活動していると伺っています。

本市としては、事業の実施に向けて、栃木県等関係機関と連携を図り、引き続き出流原・寺久保地区圃場整備事業推進委員会を支援していきます。

その他の質問

- ☆佐野市土地改良区について
- ☆学校跡地活用について
- ☆老朽市営住宅について



立川 俊一 議員
(佐野市の明日をつくる会)



鳥獣被害対策について

Q 有害鳥獣捕獲の担い手を育成するため、狩猟免許取得に係る費用を負担することについて、本市の見解を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

有害鳥獣捕獲従事者は、有害鳥獣による被害が増加している中、高齢化等の理由から徐々に減少し、当従事者の確保が大きな課題であると認識しています。

狩猟免許取得に係る費用への助成については、県内自治体の導入状況などを参考に、栃木県猟友会安蘇支部の意向も考慮しながら、適切な補助制度の導入を検討していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆児童の健全育成について



茂木 明男 議員
(創政クラブ)



市民生活について

Q 避難行動要支援者個別計画について伺いたい。

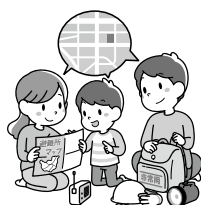
A こども福祉部長

避難行動要支援者対策事業は、佐野市地域防災計画に位置づけられており、災害時に自ら避難することが困難な方々の避難行動要支援者名簿をもとに、個人情報提供にご同意いただいた方の個別避難計画を作成します。作成した個別避難計画と名簿は、町会、民生委員、消防などの実際に地域で避難支援にあたる関係機関に提供し、災害時の支援等をお願いするものです。

令和6年度末の状況としては、避難行動要支援者の人数は2,550人で、このうち、個人情報の提供に同意し、個別避難計画を作成した方は1,050人です。同意率は41.18%となり、令和5年3月末時点での同意率22.50%から、18.68ポイント増加しました。

その他の質問

- ☆みかもクリーンセンターについて
- ☆防災拠点整備推進事業関連について





ほりかわ
悦郎

えつろう
悦郎 議員
(創政クラブ)



佐野市の定住促進に関わる取り組みについて

Q ※公共交通空白地域の解消に向けた取り組みについて伺いたい。

A 都市建設部長

本市の公共交通空白地域は、旗川地区の一部、犬伏地区の一部、界地区の一部などがあります。これらの地域において、市民ニーズや移動実態など地域ごとの課題を整理し、公共交通空白地域解消に向けて取り組む必要があると考えています。

現在、策定を進めている(仮称)第2次佐野市地域公共交通計画においても、地域の実情に応じた課題等を新たに整理し、地域のあらゆる輸送資源を活用し、解消に向けた検討を行っているところです。

その他の質問

☆佐野市の空き家対策について
☆市民の健康作りの推進について

※公共交通空白地域とは・・・

一定の距離に駅やバス停などがない状態。しかし、距離の定義は決まっていないため、地域の状況に合わせて考える必要がある。



きはら
政夫

まさお
政夫 議員
(令和みらい)



こどもまんなか社会実現に向けての佐野市の取り組みについて

Q 小・中・義務教育学校で、どのようにインクルーシブ教育が行われているのか伺いたい。

A 教育長

学校では、児童生徒の発達の段階や障がいの実態に応じて、通常の学級や通級による指導、特別支援学級といった連続した学びの場において学ぶことができるインクルーシブ教育システムの充実を図っています。その中で、障がいのある児童生徒がその年齢及び能力に応じ、可能な限り障がいのない児童生徒とともに、その特性を踏まえた十分な教育を受けることができるような指導、支援を行っています。



※インクルーシブ教育とは・・・

国籍や人種、宗教、障がいの有無などに関わらず、すべての子どもが同じ場で学び合えることを目指した教育のこと。



ながはま
長浜

なるひと
成仁 議員
(佐野市の明日をつくる会)



ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについて

Q HPVワクチンの男性への接種について助成制度を導入すべきと考えるが、見解を伺いたい。

A 健康医療部長

任意接種としての費用の一部助成については、今後の厚生労働省の検討結果や医療関係者の意向、他市の実施状況や接種率等を総合的に勘案しながら、本市においても引き続き研究を進めていきます。



その他の質問

☆持続可能な財政運営の仕組みについて
☆佐野市が目指す「国際化」について
☆「国際防災拠点さの」の今後について



いのせ 朱美 議員
(未来の佐野を明るくする会)



高齢者の買い物支援について

Q 高齢者が増える中、今後買物支援を拡充していくべきだと考えるが、当局の見解を伺いたい。

A 市長

住民主体のサービスの拡充を考えています。地域の実情により困難な場所や実施までに時間がかかるなど、思うように進まないことも懸念されますが、社会福祉協議会に委託している生活支援コーディネーターによる住民団体等への働きかけなどに積極的に取り組んでいきます。

また、近年はネットスーパーやネット販売などの仕組みも充実し、外出せずに必需品を購入できるようになってきています。こうした仕組みを活用してもらい、今後、高齢者の身体的、社会的状態に合わせた適切なサービスの提供に努め、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を安心して営むことができる社会を目指し、施策を進めていきます。



おおやま 圭司 議員
(政友みらい)



ドローンの活用について

Q 災害時に、物価投下30kg級の大型ドローンの導入を検討してはどうかと考えるが、本市の考えを伺いたい。

A 消防長

現在、消防本部では約2kgの物件の搬送、投下が可能なドローンを運用し、水難救助活動において救命用浮き輪の搬送、投下などに活用しています。

30kg級の物件投下を目的とした大型ドローンの購入については、消防、救助活動の現状での活用が限定的であることに加え、災害協定により必要に応じて連携できる体制を整えているため、現時点では導入の必要性は低いものと認識しています。

しかし、ドローン技術の進展や孤立地域への支援手段としての活用が注目されている現状を踏まえ、今後関係機関の事例や技術動向を注視しつつ、導入の必要性について調査研究を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆市職員の現状について



いのう 常夫 議員
(政友みらい)



重度心身障がい者の医療費について

Q 本市では、重度心身障がい者の医療費は償還払いとなっている。現物給付の実施については、持続可能な財政運営の観点から慎重に行っていかなければならないと思うが、栃木県内どの地域に住んでも同じ条件で受診できるよう、現物給付を実施してほしいと思うが、本市の考えを伺いたい。

A 市長

本市においては、障がい福祉に限らず、福祉サービスに係る一般財源は年々増加傾向にあり、持続可能な財政運営等の課題もありますが、重度の障がいがある方やそのご家族のために、現物給付の実現に向けた検討を行っていききたいと考えています。

その他の質問

☆通学時の児童を暑さから守る取り組みについて
☆特定外来生物クビアカツヤカミキリについて





澤田 さわだ
裕之 ひろゆき
議員
(創政クラブ)



林道作原沢入線を活用した観光開発について

Q みどり市の富弘美術館や草木ダムなどの観光資源と本市の観光資源を組み合わせた具体的な連携事業について、どのような構想を持っているのか。また、みどり市の観光資源と結びつけた連携事業について伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

みどり市との連携事業についてですが、みどり市は大変多くの観光資源に恵まれ、また、本市も蓬萊山など自然を楽しめるものや、万葉自然公園かたくりの里の花々、安藤勇寿「少年の日」美術館や葛生化石館など、みどり市と共通するテーマを持つ観光資源があります。これらの観光資源を活用し、施設の共通券や周遊観光プランの提案、加えてそれぞれの市のグルメを紹介することで、両市への観光誘客を図っていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆遊休公有財産の処分・活用について
- ☆深刻化する獣害被害と新たな対策について
- ☆持続可能な上下水道事業の構築について



滝田 たきた
洋子 ようこ
議員
(日本共産党議員団)



子どもが遊べる環境について

Q 命の危険を感じる暑さの中、子どもたちは外で遊ぶことができない日常になっている。高萩町の公園で遊具の表面温度を測ったところ、ベンチの温度49・3度、ベンチの肘かけ54・7度、滑り台手すり46・4度と、子どもはやけどしてしまうと思った。外で遊ばせられないと多くの親が悩みを抱えていると思うが、本市の考えを伺いたい。

A 市長

猛暑が続き、危険を感じる暑さが頻発していることから、天候や季節の影響を受けずに家族で遊べる屋内遊び場を望む声が高まっていることは認識しています。

本市には、屋内遊び場としてこどもの国と4つの児童館があり、施設や設備の改善、そして利用者のニーズに合わせたサービスの提供など、運営の充実に努めたいと考えています。

また、屋内の遊び場については、今後民間事業者とも連携し検討していきます。

その他の質問

- ☆不登校支援について
- ☆佐野市内フリースクールへの支援について



谷 たに
美枝子 みえこ
議員
(公明党議員会)



企業誘致について

Q 本市では民間企業の進出を促す取り組みとして、どのような支援を行っているのか伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

佐野市企業立地促進条例に関しては、本市で指定する対象区域内への企業の立地に際し、投下固定資産に対する固定資産税、都市計画税について、5年間にわたり相当額を奨励金として交付しています。また、本社や研究施設等を本市に移転した企業に対し、5事業年度分の法人市民税相当額を奨励金として交付する制度となっています。

さらに、佐野市民間産業用地整備促進条例に関しては、本市で指定する対象区域内において、民間事業者が行う5ヘクタール以上の産業用地の整備に要する造成費用に対し、1ヘクタール当たり1,000万円を奨励金として交付する制度も設けています。

その他の質問

- ☆小学校教員の働き方改革について





こもり りゅういち
小森 隆一 議員
(公明党議員会)



中心市街地の活性化について

Q 新しい中心市街地の展望を描くために、県道拡幅に伴う関係店舗、住宅等への新たな意向調査等が必要と考えるが、見解を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

中心市街地の展望は、現在第2次佐野市中心市街地活性化基本計画でまちなかの将来像を定め、この計画に基づき事業を進めています。県道拡幅事業は、栃木県が事業主体となり進めています。事業は完了していません。したがって、県道拡幅後の中心市街地への影響は未知数であると捉えています。

意向調査を実施する予定は現時点ではありませんが、中心市街地の展望を見据えることは重要であると認識しています。県道拡幅事業の完了後、中心市街地において歩行者等の交通量など、人流に新たな変化が生じた場合、必要に応じて中心市街地活性化基本計画

その他の質問

☆空き家対策について
☆防災対策について
☆生活困窮者自立支援法等改正について

対象エリア内の意向調査を検討していきます。



かわしま かいち
川嶋 嘉一 議員
(令和みらい)



「国の地方創生2.0」基本構想に基づく本市の取り組みについて

Q ふるさと住民登録制度の創設の目的と本市の取り組みについて伺いたい。

A 市長

ふるさと住民登録制度の創設については、令和8年度の開始に向け、現在総務省において制度設計が行われています。この関係人口の取り組みや都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れを創出することで、ふるさと納税や特産品の購入などによる地域経済の活性化、ボランティア、副業、二地域居住という形で地域の担い手を確保するといった効果が示されています。登録者側のメリットとしては、登録したふるさととの情報や行政サービス等の提供などが例示されています。

現状、制度の詳細が明らかになっていませんが、こうした関係人口を可視化する仕組みの創設により、本市をふるさとと感じてもらい、本市に愛着を持つてもらうことは非常に有意義なことだと感じていますので、今後国の動向を注視していきたいと考えています。

その他の質問

☆次期学習指導要領等の改訂について
☆教育の質の向上について

有意義なことだと感じていますので、今後国の動向を注視していきたいと考えています。

令和7年第5回定例会（9月定例会）審議された議案と結果

第5回定例会(9月定例会)は、9月5日(金)から10月1日(水)までの27日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
議員案第3号	佐野市議会会議規則の改正について【詳細は14ページに記載】	原案可決	賛成全員
議員案第4号	佐野市議会委員会条例の改正について【詳細は14ページに記載】	原案可決	賛成全員
報告第10号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について【令和7年度の事業計画及び予算並びに令和6年度の決算】	報 告	—
報告第11号	公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について【令和7年度の事業計画及び予算並びに令和6年度の決算】	報 告	—
報告第12号	株式会社どまんなかためまの経営状況を説明する書類の提出について【令和7年度の事業計画及び予算並びに令和6年度の決算】	報 告	—
報告第13号	令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率について【令和6年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報 告	—

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
報告第14号	市長の専決処分事項の報告について【令和7年4月15日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
報告第15号	市長の専決処分事項の報告について【令和4年3月1日から同月8日頃までの間に私有敷地内で発生した樹木損壊事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
議案第67号	市長の専決処分事項の承認について【令和7年度佐野市一般会計補正予算(第6号)歳入歳出予算の総額にそれぞれ404,190千円を追加】	承 認	—
議案第68号	人事擁護委員候補者の推薦について【 おばなあつみ 尾花淳美氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第69号	人事擁護委員候補者の推薦について【 あそうよしこ 麻生芳子氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第70号	人事擁護委員候補者の推薦について【 かわたちから 河田 力 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第71号	佐野市個人番号の利用に関する条例の改正について【行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の規定に基づき、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第72号	佐野市議会議員及び佐野市長の選挙における選挙運動の公費負担条例の改正について【公職選挙法施行令の改正に伴い、佐野市議会議員及び佐野市長の選挙における選挙運動に係る公費負担額を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第73号	佐野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の改正について【地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第74号	佐野市税条例の改正について【地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第75号	佐野市乳児等通園支援事業利用者負担金徴収条例の制定について【公立保育園において実施する乳児等通園支援事業の利用者負担等を定めるための制定】	原案可決	賛成全員
議案第76号	佐野市子どもクラブ条例の改正について【第6植野子どもクラブ、第4界子どもクラブ、第3吉水子どもクラブ及び第5あそ野子どもクラブを設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第77号	佐野市介護保険条例の改正について【地方税法の改正に伴い、公示送達に係る規定を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第78号	佐野市水道事業給水条例及び佐野市下水道条例の改正について【災害その他非常の場合において、他の市町村の指定を受けた者等が工事を行うことができるよう規定を追加し、及び所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第79号	みかもクリーンセンター外LED照明整備事業設計施工一括契約について【みかもクリーンセンター外LED照明整備事業設計施工一括契約を執行するため】	原案可決	賛成全員
議案第80号	佐野市学校等屋内運動場エアコン設置事業設計施工一括契約について【佐野市学校等屋内運動場エアコン設置事業設計施工一括契約を執行するため】	原案可決	賛成全員
議案第81号	自家用乗合自動車(中型バス)の取得について【自家用乗合自動車(中型バス)の取得】	原案可決	賛成全員
議案第82号	電子カルテの取得について【野上、新合、飛駒、常盤及び氷室の各診療所で使用する電子カルテの取得】	原案可決	賛成全員
議案第83号	字の廃止並びに町及び字の区域の変更について【県営馬門地区土地改良事業及び県営赤城地区土地改良事業の施行に伴う、字の廃止並びに町及び字の区域の変更】	原案可決	賛成全員
議案第91号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第7号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ480,003千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第92号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第8号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,831,273千円を追加、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第93号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)【歳入予算の補正】	原案可決	賛成全員
議案第94号	令和7年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ188,347千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第95号	令和7年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,908千円を追加】	原案可決	賛成全員
陳情第3号	地域医療確保に向けた特別交付税の積極的活用を求める陳情【詳細は14ページに記載】	採 択	賛成全員
陳情第4号	不登校児童生徒の学びの機会保障のためのフリースクール及び不登校家庭への補助・助成制度の新設に関する陳情【詳細は15ページに記載】	採 択	賛成全員

～職員も議会で電子機器を使用することが可能になりました～



会議の充実と円滑な進行を図るため、9月定例会より職員も議会の会議においてパソコン等の電子機器を使用することが可能になりました。職員が答弁における資料の参照などにより迅速な対応が可能となり、議会運営の効率化を図ることができます。今後も時代に即した議会運営を目指していきます。

議員案の審議結果

議員案第3号

佐野市議会会議規則の改正について

▼提案理由

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、議会に係る手続きのオンライン化に関する規定を整備するとともに、文言等の整理を行うため規則の改正を提案しました。

▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、本会議において賛成全員で可決されました。



▲全文は、こちらから
ご覧になれます。

議員案第4号

佐野市議会委員会条例の改正について

▼提案理由

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、議会に係る手続きのオンライン化に関する規定を整備するため、条例の改正を提案しました。

▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、本会議において賛成全員で可決されました。



▲全文は、こちらから
ご覧になれます。

陳情の審議結果

陳情第3号

地域医療確保に向けた特別交付税の積極的活用を求める陳情

▼陳情人 佐野厚生農業協同組合連合会 代表理事会長 熊倉 悦司ほか1者

▼陳情の要旨

佐野厚生総合病院は、地域医療構想のもと、佐野市における中核的な医療機関として、5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)及び6事業(救急医療、災害医療、へき地医療、小児医療、周産期医療、新興感染症医療)に積極的に取り組み、市民の健康と安心を支える重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、近年の物価や人件費の高騰、人口減少、消費税制度上の問題など、急激な社会情勢の変化により、全国的に病院経営は厳しさを増し、赤字経営の医療機関は全体の6割を超えている現状です。当院においても、収益確保と費用抑制に最大限努めてきたにもかかわらず、経営継続が極めて困難な状況に直面しています。特に、小児・周産期・救急といった地域に不可欠であるにもかかわらず収益性が低い不採算部門の継続は、経営に深刻な影響を及ぼしています。

こうした地域医療の継続を支援するため、国は不採算部門の維持等にかかる費用に対し、地方自治体が活用可能な特別交付税の枠組みを設けています。

佐野市においても、国の支援制度を最大限にご活用いただき、地域医療の「最後の砦」としての当院の継続的な運営に対し、格別のご配慮と財政的ご支援をいただきますよう強く陳情します。

▼審議結果

厚生常任委員会に付託され、賛成全員で採択となりました。本会議においても賛成全員で採択となりました。



▲全文は、こちらから
ご覧になれます。

陳情の審議結果

陳情第4号

不登校児童生徒の学びの機会保障のためのフリースクール及び不登校家庭への補助・助成制度の新設に関する陳情

▼陳情人 特定非営利活動法人ちもり 代表理事 菅 圭 ほか1者

▼陳情の要旨

現在、佐野市においても全国と同様に、不登校の児童生徒が増加しています。このような状況において、学校以外の学びの場であるフリースクールなどは、子どもたちの自己肯定感や社会性を育み、将来への希望を見出す上で大きな役割を果たしています。

しかし、これらの活動は主に家庭が負担する利用料によって支えられていて、経済的な理由から必要な支援を受けない子どもがいるのが現状です。

日本国憲法第26条第1項には「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」とあります。また、義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律第5条では、地方公共団体が地域の状況に応じた施策を策定・実施する責務が定められています。このような理念に基づき、すべての子どもたちに公平な学びの機会を保障するための制度整備が急務であると考えます。

そこで、佐野市として、フリースクール及び不登校家庭への補助・助成制度を創設・拡充していただきたく、次のとおり陳情します。

- (1) 佐野市独自のフリースクール等への補助・助成制度を創設していただきたいです。
- (2) 不登校児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、利用料などに対する助成制度を創設していただきたいです。
- (3) 補助・助成制度を設計する際には、民間事業者や保護者、子どもたちなど、関係者との対話の場を設けていただきたいです。
- (4) 佐野市として、不登校という社会的な課題に対して、学校外での学びや育ちを積極的に支援する姿勢を明示していただきたいです。

▼審議結果

経済文教常任委員会に付託され、賛成全員で採択となりました。本会議においても賛成全員で採択となりました。



▲全文は、こちらからご覧になれます。



令和7年12月定例会日程(案)

令和7年12月定例会の日程は、11月28日(金)の議会運営委員会で内定し、12月5日(金)の本会議で決定します。

11/24日(祝)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)
		請願・陳情 提出期限(17:00)		10:00 議会運営委員会		
12/1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	13日(土)	14日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)
10:00 本会議 (一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会	休会
22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)
本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)						

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は午前10時に開会し、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

佐野市議会報告会

申し込み不要です。
お気軽にご参加ください。

申し込み不要です
お気軽にご参加ください

～市議会議員と意見交換してみませんか？～

令和7年度 佐野市議会報告会

●日時:令和7年11月15日(土)

受付 13:30～、開始 14:00～



●会場:佐野市役所1階 市民活動スペースABC

<内容:議会報告 & 下記のテーマで意見交換を行います>

①小・中一貫校 について



②人口減少・少子 化対策について



③本市の防災 について



④意見聴取



市議会議員と意見交換してみませんか？



第21回

佐野市民 スポーツ大会

10月12日に開催された第21回佐野市民スポーツ大会で佐野市議会チームが団体対抗リレーに参加しました。第1組目に出場し、5着でゴールしました。

編集委員会

委員長 早川 貴光
委員 澤田 裕之
委員 小森 隆一
委員 小倉 健一
委員 鶴見 義明

編集後記

令和7年9月定例会は、9月5日から10月1日までの27日間で開催されました。今定例会では、新任議員9名全員を含む20名が一般質問に登壇し、さまざまな視点から論戦を交わしました。また、令和6年度決算審査では、一般会計に新任議員7名を含む16人、特別会計及び企業会計に7名が登壇し、活発な質疑が行われました。

一か月にわたる長丁場となり、新任議員においては大変であったかと思いますが、新たな風を議会に吹き込んでくれました。

今後も市民に寄り添った議論を展開してまいります。

(小森記)

